

SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan www.scout.or.jp
平成19年3月1日発行 毎月1回1日発行 第646号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.646 2007/3



埼玉・蕨第2団カブスカウト隊 森田 和彦 副長 提供

- 第21回世界スカウトジャンボリーにジョイン・イン！
- 第23回世界スカウトジャンボリー日本招致会場 立候補地の意気込み
- 平成19年度全国大会開催要項



財団法人
ボーイスカウト日本連盟

21st World Scout Jamboree
21ème Jamboree Scout Mondial



各隊でできるプログラムヒント集
世界スカウト運動創始100周年記念
第21回世界スカウトジャンボリーにジョインイン!

7月28日～8月7日、世界スカウト運動創始100周年を記念して、ボーイスカウト発祥の地イギリスにおいて開催される「第21回世界スカウトジャンボリー」(21WSJ: 21st World Scout Jamboree)の正加盟国・地域のうち世界スカウト機構(WOSM: World Organization of the Scout Movement)の正加盟国(2月8日現在)として開催準備が進められています。さらに多くの国や地域が149の国と地域がすでに派遣団を編成してこの世界ジャンボリーに参加を表明(2006年6月8日現在)しています。さらに多くの国や地域が参加の準備を進めており、過去最大級の世界ジャンボリーに参加を表明(2006年6月8日現在)しています。さらに多くの国や地域が世界各地からおよそ4万人が参加するこの世界ジャンボリーに参加を表明(2006年6月8日現在)しています。さらに多くの国や地域が100周年を世界中のスカウト仲間と祝おうとしていることにも忘れていません。100周年の今回は「ジョイン・イン」100周年(Centenary)と題してプログラムアイデア群が開発されています。各部門のプログラムアイデアのいくつかを日本から提供されています。各部門のプログラムアイデア群が開発されています。各部門のプログラムアイデアのいくつかを日本でも世界ジャンボリーに「ジョイン・イン」してみてください!

ビーバースカウトのプログラムアイデア

◆8月1日のサンライズセレモニー

100年前、最初のスカウト活動となったブラウンシー島での実験キャンプが始まったこの日を記念して、世界の各地でそれぞれの日の出を見ながらセレモニーをします。

みんなのトランペットを鳴らせ

楽器は何でもいい。洗面器を棒でたたくのもいい。何か音の出るものを持って日の出の見える場所に集合。スカウティングの100周年を祝って、朝日に向かって一斉に音を鳴らそう（地域の方々に迷惑をかけないように注意）。自作楽器のアイデア（サンライズセレモニーの前の集会で作ってみよう）

- ・瓶にいろんな高さの水を入れて、吹く。ドレミファソラシドの音階を作って演奏するのもよい。
- ・ハンガーから空缶などいろんなものをぶら下げて、ぶつかりあう音を聞く。風が吹いていたら、ハンガーを動かさずに風の鳴らす音を聞くのも楽しい。
- ・アルミホイルの芯や短いホースなどの筒状のものに、「ぶーっ！」と唇を鳴らしながら息を吹き込む。
- ・5円玉から10円玉を2つ、少し間を開けて持ち、穴を吹く。練習すると笛のような音が鳴る。



◆世界ジャンボリーにちなんで

世界の各地からスカウトたちが集ってくる世界ジャンボリーにちなんで、いつものビーバーの世界を違った角度からあらためて眺めてみよう！

さかさま集会

いつものビーバー集会を、いつもと逆の順番で進めてみる。もちろんユニフォームも後ろに着用して。ゲームも後ろ歩きで進めてみたり。



ここどこ集会

いつものビーバー隊の集会を、いつもと違う場所で開催。場所が変わることで何がかわるか。いつもの集会場の良さなども考えてみる。

ちがった仲間

いつものビーバー集会に、いつものビーバー隊の仲間以外の人を招いて一緒に遊んでみる。違う地域のビーバー隊、違う部門のスカウトでもいいし、他の団体に活動する友だちでもいい。

し〜っ!

そして全員で音を一切立てない時間を持とう。静かに目を閉じて、スカウト活動でお世話になった人や友だち、家族のことを考えて、感謝の気持ちを送ってみよう。

面白たべもの

いつものビーバー隊の食事を、いつもの食材で作る。ただし、見た目を変えたり、外国風にししたりとアレンジ。調理したものは最初からビーバーたちに見せず、ヘンな名前や外国風の名前をつけて、選ばせてみる。あるいはビーバーたちに食べたものに名前をつけさせてみるのも面白い。

聞き耳を立てて歩こう

そして静かに、歩いてみよう。自然の音、人間が作った音に耳をすませ、世界の音を聞いてみよう。

カブスカウトのプログラムアイデア

◆8月1日のサンライズセレモニー

◆世界ジャンボリーにちなんで

世界各地から集まってくるスカウトたち。国や地域によって異なる様々な生活環境について考えてみよう。

日の出が見える会場を設定して、スカウト運動の一員であることの誇りをあらためて感じるために、おごそかなセレモニーを行います。セレモニーの会場に、各組で集めてきた花を植えるのもよいでしょう。事前の組集会で、色紙や表彰用紙にそれぞれの組の1年間の活動を振り返った寄せ書きなどをしてセレモニーに持ち寄るのもよいでしょう。国旗と隊旗、組旗を揃え、日の出の直前にカブスカウトの「やくそく」とカブ隊の「さだめ」を再確認します。朝日が昇ったら、カブコールを行います。

水を集めろ

国や地域によってはきれいな飲み水を得ることが難しいところもあります。水の大切さを学ぶため、各組で水を備蓄するゲームをします。「昼食の調理に使える水の量を決めます」という想定も面白い。

1. バケツやポリタンク、ペットボトルなど、水を蓄えておく容器を各組で考え、隊集会の日を持ち寄ります。
2. 指導者は隊集会に多数の「課題カード」を用意します。カードは封筒に入れるなど、課題を選び好みできないように工夫します。
3. 隊集会でゲーム大会。広場に課題カードをばらまいて、あるいは森のあちこちに隠して、各組は拾ってきたカードに書かれた課題に挑戦。カードに応じて水をもらいます。それを各組で用意した容器に集めていきます。

<課題例>

- ・組の全員で人間ピラミッドを組む。：水4カップゲット
- ・組の全員で円陣バレー、30回続ける。：水1カップゲット
- ・うさぎ、しか、くまの「なわ結び」をそれぞれ実演する。：水3カップゲット
- ・組の全員で並んで端から順にカブスカウトの「やくそく」とカブ隊の「さだめ」を言う。：水1カップゲット
- ・組の全員で「いつも元気」を歌う。：水2カップゲット など

<応用課題例>

- ・リードしている他の組から好きな容器1杯分をもらう「チャンスカード」を入れておく。
 - ・他の組に一番大きな容器1杯分をあげなくてはならない「フレンドシップカード」を入れておく。
4. 一定の時間でゲームを終え、最も多くの水を集めた組が優勝。
 5. 各組で集めた水だけを使って組の食事を作って昼食会などとしてもよい。この場合はうまく集められなかった組を助ける「再挑戦課題」なども用意しておく。



ボーイスカウトのプログラムアイデア

◆世界ジャンボリーにちなんで

世界中のあらゆる場所からスカウトが集う世界ジャンボリーにあわせて、国際的な意味を持つ野外活動を展開しよう。

その国を目指せ

<準備>

- 30m 四方程度の広場を設定する。
- ゴール側の一辺に、1m間隔程度にいろんな国のゴール地点を設定する。
- スタート地点からそれぞれの国に至るつづら折れ直線のコースを設定し、曲がるポイントと方位角、距離をそれぞれ図上に記録しておく。
- そのコースに沿って、スタート地点から出発する方位角、距離、曲がる際の方位角だけを示した指示カードを国ごとに作成する。またゴール地点を示す各国旗カードを作っておく。

<実施段階>

- 各ゴール地点に国旗カードを伏せて並べる。
- 広場にはコースを示さない。
- 各班に指示カードを選ばせる。
- 指示に沿って、スカウトは班で協力し、コンパスと歩測を用いて指示カードのコースを進む。
- 指定の国に正しく到着できた班はゴール。



異国のゲームで遊ぼう

イギリスのクリケット、インドのカバディ、オランダのフィーエルヤッペン、タイ・マレーシアのセバタクロ、フランスのベタンク、メキシコのトラチトリ、などのスポーツゲームを調べ、体験してみるのもよい。

◆8月1日のサンライズセレモニー

スカウティング 100 周年の瞬間、一度立ち止まってこの 100 年間の冒険を振り返り、世界各地のそれぞれの隊の新しい世紀の始まりを宣言します。

まぶしいまぶしい日の出

スカウティングはその歴史の初期から、様々な障害のある仲間を歓迎してきました。100 周年の日の出を見たあと、それを直接見ることができない、目の不自由な友だちやその他の障害のある友だちのことを考える契機として、いくつかのゲームをします。

●見えないものを作る

- レゴなどのブロックや、積み木を用意します。
 - 2人1組になって背中合わせに座ります。互いに相手側を見てはいけません。
 - 1人の前にブロックや積み木で組み立てた工作物を置きます。背中合わせのもう1人には、組み立てていない材料を渡します。
 - 工作物側のスカウトは、その工作物がどのように組み立てられているかを背中合わせのスカウトに説明します。
 - 材料側のスカウトはその説明を聞きながら、組み立てていきます。
- この作業を通じて、見ることができないものを作っていき、難しさや、どのように進行しているかわからない相手に作業の説明をしていくことの難しさを実感することで、目の不自由な人の置かれた状況について考えます。そしてそれを契機に、聞くことができない人や、手をうまく動かせない人など、様々な障害のある人についても考えます。

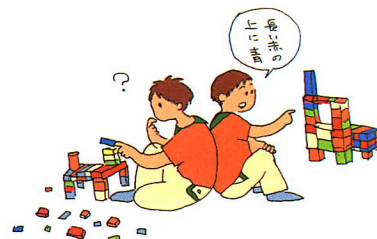
●キャップハンディゲーム

テント立てや、障害物コースでカップの水を運ぶ、などの作業に、次のような条件で挑戦してみます。班のメンバーでリレー方式にしたり、2手に分かれて作業チームと支援チームで進めるのもよいでしょう。

- 片手を三角巾で吊る
- 目隠しや耳栓をする
- ラップを巻いた見えにくい眼鏡をかける
- 車椅子に乗る
- 指の分かれていない手袋をする
- 利き手でないほうの手だけを使う

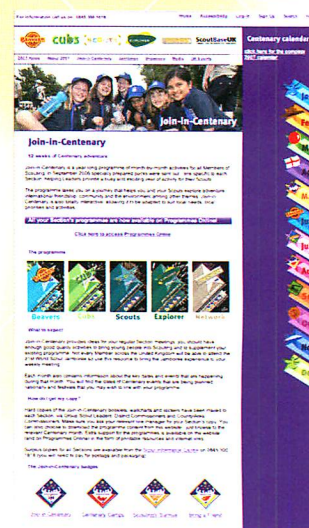
どんな条件を持つとどんな作業が難しくなるか、それをよりよく行うにはどうしたらよいか、班としてどのように協力したらよいかなどについて考えます。

また、どのような障害のある人にとっても、仲間と協力しあって前進していくスカウティングが役立つことができるということを改めて認識し、すべての青少年に開かれたスカウティングを展開していけるようにしましょう。



ベンチャースカウト・ローバースカウトのプログラム

イギリス連盟のウェブサイトに設けられている「ジョイン・イン・センテナリー」プログラムの中の「エクスプローラー（18～25歳）」のためのプログラムヒント集を参考に、これからのスカウティングを考えたり、楽しいアクティビティを共有できるよう、計画・実施してみよう。
<http://www.scouts.org.uk/jic/>



世界のスカウト仲間と100周年を祝う「第21回世界スカウトジャンボリー」。これらのプログラムで、皆さんの隊でもその祝福の輪に加わってください。8月1日のサンライズセレモニーは、次の100年に向かって前進していくことを、世界中で誓いあう場とします。



2015年 第23回世界スカウトジャンボリーを日本へ！ 招致会場立候補地それぞれの意気込み

100周年記念の21WSJを終えると、4年後にはスカウティングの新しい世紀の大会として第22回世界スカウトジャンボリーがスウェーデンで開催されます。

そしてそのさらに4年後の2015年、世界ジャンボリーをこの日本で開催しようということで、日本連盟はその招致活動に取り組んでいます（本誌2006年12月号に詳報）。

本年4月にWOSMへの正式な立候補手続きを行うため、現在23WSJ日本招致委員会を中心に日本国内での開催会場の選定作業が進められています。

2月後半から3月にかけて、各候補地の視察などが行われる他、3月上旬には各候補地の県連盟によるプレゼンテーションが行われ、23WSJ日本招致委員会での検討を経て、3月の評議員会、理事会により日本招致の会場が決定される予定です。

2月上旬現在、その会場候補地として名乗りをあげている各連盟から届いた、それぞれの意気込みをご紹介します。なおこの他招致会場立候補に名乗りを上げている茨城県連盟では、現在その会場候補地詳細等につき鋭意調整準備中です。



★北海道

雄大な大自然の中で多様な冒険を
北海道連盟 理事 西岡 浩



前回残念ながらかなわなかった22WSJ招致の会場立候補から、道および近隣自治体の大会誘致への熱は続いており、世界から集うスカウトたちとの交流に地元は大いに期待し、

支援体制を整えています。

加盟員の減少が続く今、スカウトが野外活動により高い目標を掲げ、その魅力を生涯体験できることを考えております。今回のWSJ招致においては、北海道ならではの自然の魅力を生かし、ふらの自然塾、山岳連盟、アウトドア協会、日本野鳥の会他様々な野外活動関連のNPOなどの協力も積極的に得ながら、大会テーマに沿ったパトローリングの原点に応える魅力的な野外活動のプログラムをスカウトたちに提供できる場所と自負します。そして、そのための新しい環境づくりを通じて、これからのスカウティングをより魅力的なものにしていきたいと考えています。



23WSJ日本招致の業務を進めている100周年特別委員会の皆さん。左から西岡委員長、長岡副理事長、稲葉委員、中本副委員長、扇間県連盟コミッショナー

会場は新千歳空港から約20分、苫小牧港から約30分ほどの位置にある、アクセス良好な場所で、緩やかな丘陵に雑木林が点在する快適な道有の牧草地です。

周辺には、ラムサール条約に登録されているウトナイ湖があり、支笏湖、樽前山も近い場所です。幹線道路網も整備されており、ニセコ、大雪山連峰、日高連峰などへも2時間程度で移動でき、雄大な大自然の様々なロケーションの中で、冒険的な活動が展開できます。



当連盟では道内の随所にある国有林、道有林などの公有林をスカウトたちが使い育てる「スカウトの森（森のスカウト基地）」構想など、未来のスカウトたちにより良い活動の機会、場を提供していくことで関係機関とも協議し、創始101年からの事業に取り組んでいます。その中であって23WSJの開催が北海道で行われることは日本のスカウティングにとっても大変有益な機会になると思います。

23WSJでの様々なプログラムに参加したスカウト一人ひとりが、それぞれのスカウティングの「目標」に基づき今後の隊活動がより良いものになっていく。そんな機会となる23WSJを、ぜひ大自然に抱かれたこの北海道で開催しましょう。皆さんをこの地にお招きできることを楽しみにしています。

★石川県

県・市を挙げて経験を生かした万全
支援。珠洲に世界の仲間を

石川県連盟 理事長 西村 稔



会場は能登半島
先端南側の海に面
した珠州市りふ
れっしゅ村鉢ヶ崎。
皆さんご存じの
14NJ会場です。
ここを、さらに2
倍ほど拡大したエ
リアで23WSJ
を予定しています。おだやかな遠浅の海に面
した、絶好の野営地です。

23WSJ開催の前年には北陸新幹線が金
沢まで開業。東京・金沢間が2時間30分
で結ばれます。高速道路の整備や能登空港の増
便もあり、各地からの来場もぐっと便利にな
ります。

美しく豊かな自然あふれる能登半島の全域
を活用した多様なプログラム活動はもちろん、
地域住民の生活の場と隣りあった会場という
特色を生かし、14NJでの地域の人々と様々
な交流プログラムを進展させ、WSJではさ



らに民家でホームステイ
や数々の生活体験、日本の
伝統文化の体験など、世界
のスカウトたちにより深さ
を増した交流を提供したい
と思います。

珠洲でのWSJの最大の強みは、
14NJの開催実績です。石川県をは
じめ珠州市、警察、病院、消防、漁協、農協



など地域の多くの皆さんから、それぞれご支
援いただいた貴重な経験を、WSJ招致につ
なげたいと、私たちだけでなく地元の皆さん
もWSJの招致を心待ちにしております。

スカウト運動は私たち加盟員だけの力で達
成できるものではありません。広く地域社会
の人々の理解と協力を得て、その輪を広げな
ければ発展は望めないと思います。「より開か
れたスカウト運動」を目標に、社会との関わ

りを広げる必要があります。

おかげさまで珠洲は14NJ開催により貴重
なノウハウができました。地元の皆さんには、
多くのスカウトとの交流を通じ、スカウト運
動を理解いただけたと信じています。すばら
しい体験をもとに、次は地域挙げての受け皿
づくりを目指したいと思います。

石川県連盟は「スカウティングは運動だ、
常に動きつづけよう」を合言葉に、9NA、
14NJを招致してきました。その14NJで
多くの皆さんから「珠洲への手紙」をいただ
きました。能登半島・珠洲に対する熱い思い
が伝わってきました。その思い出の地で、次
は「世界の仲間と会える日」を待ち望んでい
ます。



★山口県

海、山、空、伝統文化。日本の
美のすべてを発信します

山口県連盟 県連盟コミッショナー 松野清和



市川理事長(右)、松野県連盟コミッショナー(左)、池田事務局長(上)

公園や自
然観察ゾ
ーンなど
を含む緑
の多い埋
立地の、
青く透き
通った瀬
戸内海に
面した一
帯が会場
となります。

新幹線の新山口駅から車で15分、JR宇部
線の阿知須駅からは徒歩15分、宇部空港か
ら車で15分。中国道、山陽道、宇部有料道
路など20分圏内に3つのICもあり、アク
セス良好なロケーションです。

海と緑に囲まれた別天地でもあり、またす
ぐ近くに温泉、ゴルフ場、大病院、市街地
もある便利な場所でもあります。会場に面
した抜群に美しい瀬戸内海での活動はと
ても気持ちの良いものになりますし、瀬
戸内海国立公園、北長門、秋吉台、西中
国山地の三つの国立公園の変化に富んだ
自然を楽しめる環境も



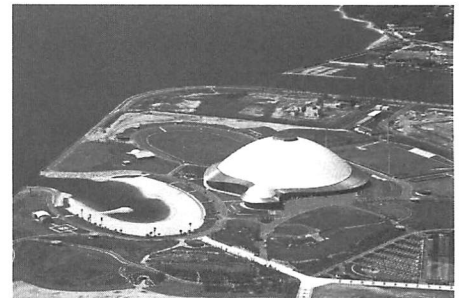
至近です。温泉を中心とした
多くの宿泊施設も周辺に充
実しており、全国、そして世
界からの見学者も多数歓迎
することができます。

県の社会教育・文化財課を
通じ、県知事や市長もWSJを
歓迎、支援を申し出てくれてい
ますし、大学病院はじめ医療施設も数多く、
また周囲の学校の協力も得、多くの見学団
を迎える施設や災害時の避難場所も確保
しています。今年の夏にでもWSJ対応可能
という絶好の環境です。

当連盟でも理事会の支援のもと、コミッ
ショナーグループと各委員会が中心とな
って、WSJに向けて結束しています。今
その推進役となっているメンバーがWSJ
の数年前に仕事をリタイアする世代で、
2015年に向けて数年間、完全に全力投
球できる態勢を整え、



関門海峡



大会を迎えることを心から楽しみに計画を進
めています。

残念ながらあまり知られていないので
すが、山口は「西の京都」といわれるように
歴史的遺産も多く、海、川、山と美しい自然
も豊かで、焼き物などの伝統工芸も残って
おり、「日本の美・和の文化」のすべてを感
じてもらえる土地です。

また、広島原爆記念館も近く、上関、中
関、下関と、源平合戦から明治維新、昭和
の戦争の傷跡も多く残る地でもあり、日本
招致のテーマ「和」に関連して、「平和」に
ついて世界に発信できる絶好のWSJ会場
です。

今までにないすばらしい活動を通じて、
スカウトたちのプログラムが一層向上して
いくような、そんな世界ジャンボリーをこ
こ山口で開催しましょう。全国の皆さん、
よろしくお願いします。

追悼 伊藤智是教育本部コミッショナー

伊藤智是教育本部コミッショナーのご逝去を悼んで

愛知連盟理事 浅野 武雄

智是さん、あなたは私を武(タケ)さんと呼んでくれました。その後、私も智(トモ)さんと呼ぶようになりました。

智さんに初めて会ったのは19歳のローパーのときでした。「なごやまつり」の時、テレビ塔の下であなたは鼓隊のドラムメジャーとして、私たちを指導してくれました。太鼓がすごく上手だったことを覚えています。それが智さんとの始まりです。

それからお互いに社会に出て、仕事とボーイスカウトの両立を定年まで40年、がんばってきましたね。一番印象に残っているのは、シニアの研修所を初めて立ち上げたときの事です。夜遅くまで議論しあっていたら、窓の外が明るくなってきて、慌てて点検に飛び出していったことが何度もありましたね。それが軌道にのり、今ではベンチャーに移り、愛知ではもう今年ベンチャーの研修所も10期になりました。

以降あなたは日本のスカウト運動の中核に入り、ディレクターやコミッショナーをしながら、名古屋第111団のボーイ隊長もしていました。「ようやってるな」と私はいつも思っていました。スカウトたちが大人になっても、あなたを忘れないでしょう。あなたの思いを胸にきくと将来いい社会人になり、良い世の中してくれると思います。

あなたはいつもスカウトの「ちかい」と「おきて」を実践しようといっていましたね。神へのつとめ、他へのつとめ、自分へのつとめ。この三つをよく努めていましたが、自分へのつとめをしている暇がなかったのではないですか。あなたは自分より仕事やスカウト運動に一生懸命でしたから。

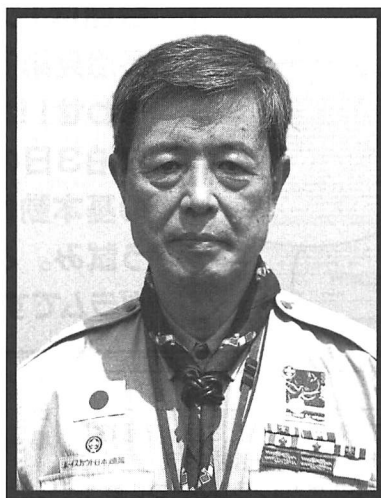
今年の夏、イギリスでの世界ジャンボリーに一緒に行こうといっていたのに。これからは仕事との両立でなく、スカウト運動に残った人生をかけようといっていたのに。こんなに早く別れるときがくるなんて。

智さん、あなたのキャンプの朝の話、研修のセッションの指導、ハイキングの技能の伝達、キャンプファイアの歌声、そしてすばらしい笑顔をいつもありがと。みんな私たちの心の中で、今も感動を呼び起こします。これからは大空の星となって、私たちのキャンプの夜を照らして、どうか導いてください。

私たちも、智さんの分まで、これからの多くの青少年に、より良いスカウティングを提供し、導いていくことをちかいます。

智さんありがとう。安らかに眠りください。さようなら。

平成19年1月20日 智さんのスカウト兄弟を代表して



伊藤智是氏を偲んで

教育本部コミッショナー代理 篠田 常生

昨秋、鳥根での県連盟コミッショナー会議の開催1週間前に伊藤さんからメールがきました。「体調不良でどうしても出席できないのでよろしく頼む」とのこと。少し休養されればすぐに元気になると思っていたのに……。

昨夏の14NJでは、同じテントで寝食を共にして、深夜までスカウト談義をやりましたね。貴方のスカウト運動に対する底知れぬ情熱を感じました。ときばきと元気に職責を果たしておられた姿を思い起こせばとても信じられません。

長年の懸案であった日本連盟の組織変革で、新たに教育本部正副コミッショナーチームを清水さんと3人で組み、意識改革にも共に取り組み汗を流し、やっと2か年が過ぎ総括する時期が来たと思っていた矢先でしたのに。教育本部コミッショナー会議、教育本部会議、常任会議、県連盟コミッショナー会議と待たなしでやってくる諸会議に手際よく一本筋の通った運営をし、一途に信念を貫く伊藤さんをどんなに頼もしく力強く思ったことか。次から次へと起こる事象に大所高所からの確に判断をして、決断をしていく伊藤さんに感心し敬意を表しておりました。

しっかりと目標、目的を見据えて、不退転の決意で勇気をもって情熱を注がれた伊藤さん。志半ばで突然の病に倒れられ、さぞかし無念であったろうと思います。貴方の志は私たちがしっかりと受け止めて伝えていく決意であります。心からご冥福をお祈りいたします。安らかに眠りください。

伊藤智是教育本部コミッショナー(いとう ざとし 昭和19年生)

<主な奉仕歴>

■日本連盟

昭和58年4月～ トレーニングチーム リーダートレーナー
平成11年4月～ トレーニングチーム ディレクター
平成11年5月～ 中央審議会議員
平成15年6月～ 中央審議会副議長
平成17年4月～ 教育本部コミッショナー・理事

■愛知連盟

昭和54年6月～ 県副コミッショナー
平成7年6月～ 理事
平成10年6月～ 指導者養成委員長
平成14年6月～ 副理事長

■受章

県連有功章(S50年) かつこう章(S60年) たか章(H12年)
愛知県青少年育成国民会議会長表彰(H16年)
愛知県知事ボランティア表彰(H17年)



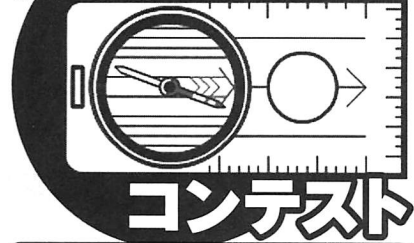
全国のスカウト仲間の皆様へ

喪主 伊藤 賢訓

全国のスカウト仲間の皆様、この度は、伊藤智是の葬儀にあたり、お忙しい中、多くの方々にご会葬いただき、また弔電をはじめ故人の他界を悼むお言葉を多数頂戴いたしました。皆様の温かいお心に支えられて、故人も、楽しく一所懸命にボーイスカウトに奉仕できたことを、あらためて実感させていただいております。本当にありがとうございました。皆様も、どうかご健勝にてご活躍になりますことをお祈り申し上げます。

本来ならば皆様方に直接御礼を申し上げるべきところですが、この場をお借りしてご挨拶申し上げますことを、何卒お許しください。

活動自慢



活動自慢コンテストとは

各隊のスカウト活動の良いところを積極的に評価し、それを日本連盟、県連盟、また他の隊でのプログラム開発、スカウティングの参考にしてもらうことを主な目的とする。プロジェクト全体を対象とする「マジ自慢部門」と、プロジェクト内の一つの活動を対象に評価する「プチ部門」の二つを募集。

作品介绍 その4



今回は「プチ部門：金賞」に輝いた、岐阜・多治見第1・第2・第3団の合同活動の一つ『しあわせ!!カブスカウト計画』をご紹介します。2泊3日の合同舎営を通じて、スカウト活動の基本動作や技能をしっかりと修得しよう!という試み。どこの団でも即応用できそうなプログラムです。

タイトル しあわせ!!カブスカウト計画

私たちの町でのスカウト活動は、協議会として、普段は1回、2回、3回で活動をしています。年に3回は、各団のカブスカウト隊が合同で活動を行います。合同行事の一つ、毎年7～8月に行われる夏季舎営中のプログラムの一つです。

この「しあわせ!!カブスカウト計画」は、2泊3日の舎営を通じて、日頃行っているスカウト活動の基本動作、技術等を含めて指導を受け、練習をして発表をするのです。

始める前にスカウトたちに「組で取り組むか、取り組まないか」意向を聞き、プログラムを開始します。意向を確認後、ルール説明を行います。初めは「指導者が何とかしてくれる」と大変甘い考えで取り組んでいたスカウトたち。一回目の発表ではどこも成功する組はありませんでした。

スカウトたちに「どうしますか?」と問いただし、スカウトたちは「やらせてほしい」と意思を表明します。その後は、組で取り組み成功していきます。

このプログラムは、スカウトたちのやる気など、ゲームを通じてスカウト活動への意識を向上させるとともに、指導者にとっても、スカウトとの日頃の活動を見つめ直し、改めて真剣に取り組めました。

このプログラムにより、普段は夜騒いでいたり、些細なけんかをしていたスカウトたちが、一つの取り組みを行うことにより、事故等もなくなりました。

〈ルール説明〉

- 共通課題：制服、正帽で行う（制服の着方、チーフの仕方）。「気をつけ」「休め」の実践（担当者の審査対象）。
 - （整列をしてから、報告を受けます。間違っていたら報告を受けるときにストップをかけてください。それまでは黙っててください）
 - 各担当リーダー（審査員）は、担当した課題内容の正しい知識を身につけておいてください。（流れ等は、指導者ハンドブックに載っています。必ず読んで覚えておいてください）
 - ルールの説明、発表方法、はじめの指導、審査は、担当者（審査員）が行います。（指導は1回だけです。指導方法も考えておいてください。指導に必要な備品は各自で準備してください）
 - 発表途中で間違えたりしたらそこでストップをかけ、正しいことを教えてあげてください。（発表はそこで終わりになります）
 - 歌は、担当リーダー（審査員）がそれぞれ3曲選曲しておいてください。（練習の準備はスカウトが行う）
 - 各組が使用する備品は、各担当者が管理してください。
 - 2回目の発表でクリアできなければ、多治見に帰ってから行います。
 - 担当者（審査員）の皆さんへ…1回目の発表は、鬼になって、厳しく審査をしてください。2回目は…
- 注）この資料は、舎営当日プログラムが始まるまで、外部に漏らさないでください。マル秘



テーマ しあわせ!!カブスカウト計画

日時 7月24日(土)・25日(日)・26日(月)

場所 晴れ：外（ピロティー等広いところがいいです）
雨：体育館等スカウト全員が集合できるところ

(24日(土))

| 時間 | 担当 | プログラム | 用意するもの |
|-------|----|---|---|
| 13:30 | I | 集合 | 〈隊持ち物〉 各くじ(K) 課題提示(1) 国旗1(N) ポール1(N) テント1(N) 隊旗1(N) |
| | J | ルール説明 ・発表は3回あります。(3回目は…) ・間違った時点で失格となります。 課題設定 ・番号のくじを各組長がひきます。(団別に分けてあります) | |
| 13:45 | | 担当リーダー組へ訪問 ・課題提示 ・課題指導 (リーダーからの指導はこの時間だけです。それ以外は指導できません) | 〈個人の持ち物〉 カブブック カブ歌集 ロープ |
| 15:15 | | 組活動 | |
| 16:25 | I | 集合 | |
| 16:30 | | 解散 | |

(25日(日))

| 時間 | 担当 | プログラム | 用意するもの |
|-------|------------|-------------------------------------|--------|
| 15:00 | I | 集合 (報告を受けるだけでいいです。やり直しをしない) | |
| | J | 発表順番決め ・くじで順番を決めます。 | |
| | 担当 リーダー | 課題発表 ・全組が発表します。 組活動 集合 | |
| | | 解散 | |
| 17:00 | | 解散 | |

(26日(月)) (配布用のプログラムには「ひみつ」と入れておく)

| 時間 | 担当 | プログラム | 用意するもの |
|-------|------------|--------------------------------|--------|
| 10:00 | I | 集合 (報告を受けるだけでいいです。やり直しをしない) | |
| | J | 発表順番決め ・くじで順番を決めます。 | |
| 10:30 | 担当 リーダー | 課題発表 ・1回目クリアできなかった組が発表します。 | |
| | | 表彰(全組がクリアしたら) | |
| 11:30 | | 解散 | |
| 11:40 | | 解散 | |

- 〈表彰基準〉
- ・最優秀組賞…1番最初に課題をクリアした組
 - ・優秀組賞…2番目にクリアした組
 - ・舎営長賞…舎営長の独断で決めてください

しあわせ!! カブスカウト計画 課題一覧

| | 課題 | 団 | 担当 | 内容 | 発表方法と審査方法 |
|---|-----------------------|---|----|---|---|
| 1 | 国旗儀礼 | 1 | A | 正しい国旗の儀礼の仕方(揚げ下げ)、国旗のたたみ方を行う。 | 〈発表方法〉 発表前に国旗を揚げる人(正、副)、下げる人(正、副)、国旗をたたむ人(2人)をくじで決める。 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②国旗儀礼が正しく行われているか。 ③国旗が正しくしまわれているか。 |
| 2 | さだめ・やくそくの唱和、エール・仲良しの輪 | 2 | C | カブサインを行い、さだめとやくそくを唱和する。組全員で、エールと仲良しの輪を行う。 | 〈発表方法〉 順番は発表前にくじで決める。一人一つずつ発表を行う。エール、仲良しの輪は組全員で行う。 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②正しいスカウトサインが行われているか。 ③さだめ、やくそくが正しく唱和されているか。 ④正しいカブコール、仲良しの輪が行われているか。 ⑤大きな声で言っているか。 |
| 3 | 歌 PART I | 1 | D | カブ歌集から3曲選曲して、うち1曲を覚え歌う(3番まであれば3番まで歌う)。 | 〈発表方法〉 発表前に課題曲3曲の中から、1曲をくじで選ぶ。 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②大きな声で歌っているか。 ③歌詞を間違えないで最後まで歌えたか。 |
| 4 | 歌 PART II | 2 | E | カブ歌集から3曲選曲して、うち1曲を覚え歌う(3番まであれば3番まで歌う)。 | 〈発表方法〉 発表前に課題曲3曲の中から、1曲をくじで選ぶ。 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②大きな声で歌っているか。 ③歌詞を間違えないで最後まで歌えたか。 |
| 5 | 歌 PART III | 3 | F | カブ歌集から3曲選曲して、うち1曲を覚え歌う(3番まであれば3番まで歌う)。 | 〈発表方法〉 発表前に課題曲3曲の中から、1曲をくじで選ぶ。 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②大きな声で歌っているか。 ③歌詞を間違えないで最後まで歌えたか。 |
| 6 | ロープ PART I | 3 | G | カブブックにあるそれぞれの課程のロープ結びを覚える。一人15秒でリレー方式で行う(人数×15秒と考える)。 | 〈発表方法〉 発表前に、課程のロープ結びの中から1つをくじで選ぶ(うさぎはうさぎ課程、しかはしか課程、くまはくま課程)。 順番を、くじで決める。 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②時間内にできるか。 ③正しい結びができていないか。 |
| 7 | テントの設営・撤収 | 1 | H | 10分以内にテントの設営、撤収を行う。 | 〈審査方法〉 ①制服、正帽が正しく着用されているか(気をつけ、休めも含む)。 ②時間内にできているか。 ③正しくテントが建てられ、しまわれているか。 |



<入賞の感想>

多治見第3団 河村国宏C S隊副長より

このプログラムが活動自慢コンテストの金賞受賞と聞いて大変びっくりしました。このプログラムは私があるテレビ番組をみて思いついたものです。現在の子どものニーズとスカウト活動を共有することで、スカウト活動の理解と発展に結びつけ、継承することを課題にして立案しました。この受賞を期に新たなプログラムをスカウトたちに提供し、スカウト活動を継承していきたいと思えます。

<ユース特別委員会コメント>

この作品は資料が計画書のみでしたが、大変わかりやすい計画書の書き方でした。当日協力してくださる方々も活動の流れやプログラムの方法、準備物などがわかるようになっていきます。カブスカウト隊の指導者は一人ですべてを行うのはなかなか難しいので、協力していただける方にわかりやすく活動を説明できる計画書は大変重要だと思えます。

※記事中の写真は昨年度同団で行った活動のスナップで、コンテストの活動のものではありません。

キーワード：冬の海・ビーチコーミング・環境・自然観察

| | |
|----------|--|
| アクティビティ名 | ビーチコーミング |
| ねらい | 夏以外の海での自然観察や流れ着いたゴミを見て環境を知る。 冬の風の強さや温度を体感し、季節の違いを肌で感じる。 |
| 内容 | 海岸を散歩しながら季節を感じる。次回のクラフト用に流木を拾い集める。 |
| 指導上のポイント | 浜辺を歩きながら落ちていたものを見て、どこから流れてきたのか、なぜこんな形なのかなど環境や経緯を考える。 |
| 準備物 | 拾ったものを入れる袋 |

海辺の野外活動では、どのような活動をされているでしょうか？

夏は海水浴で賑わっていたのが、冬は誰一人もなく、ひっそりとしている浜辺。

でも、そこには長い漂流の末に浜辺に辿り着いた流木、貝殻、波に洗われ角がとれたガラスや陶器のかけら、外国の文字がプリントされたビンなどいろいろなものが打ち上げられています。こんな冬の海を初めて体験するスカウトも結構います。今月は、海で漂着物を集めて遊ぶ、「ビーチコーミング」を紹介します。

ビーチコーミングは、ビーチ＝浜辺、コーミング（コム）＝「くし（櫛）」という英語から、浜辺を櫛で髪をとくように、浜辺に流れ着いた物（漂着物）をよく探すという意味だそうです。

金沢第6団ビーバー隊 11月 第1回目 隊集会 タイトル：冬前の海でビーチコーミング 場所：松任海浜公園

隊長：8月に牛乳パックイカダで遊びに海に来た頃と比べて様子はどうかな。

スカウト：風が強いし、寒いよ。波もすごく高いし、音もすごいね。

夏は人がいっぱいいたのに、今は誰もいないよ。

隊長：そうだね。じゃあ波打ち際まで行ってみよう。海水も冷たいかな。

スカウト：これだけ寒からきつと冷たいだろうな……あれ思ったより暖かいよ。こんなに寒いのにどうして冷たくないのだろう。

隊長：海の水はたくさんあるので寒くなっても冷えるのに時間がかかるそうです。僕もこんなにぬるいとは知りませんでした。

スカウト：隊長こっちに大根や野菜の腐ったものが落ちていますよ。

クルミもいくつか落ちています。

隊長：本当だ。他に何かあるかみんな調べてみよう。

スカウト：ビニール袋、木くずがいっぱいあるね。貝殻やクラゲも打ち上げられていたり、ライターやビンに小さい貝がいっぱいくっついていたりするよ。なんか、気持ち悪いなあ。

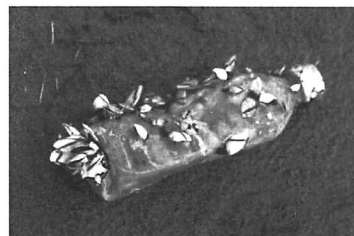
隊長：この貝はすごいなあ。僕もこんな初めて見たよ。夏にはなかったクラゲや貝殻もいっぱい。特に大きいクラゲがゴロゴロしているね。このクラゲたちはどうして打ち上げられたのだろう。不思議だね。

スカウト：隊長、変わった字の書いてあるペットボトルを見つけました。

隊長：韓国の文字だね。ぼくは中国の文字のビンを拾ったよ。本当にいろんなものが流れ着いているね。それとこのゴミを見てみんなはどう思うかな。

スカウト：きつと町に捨てたゴミが川を流れて海までくるんだよね。そのうえ外国のものもここまでくるんだね。

隊長：いいことに気がついたね。みんなはどうしたらいいか考えてみよう。



ビーチコーミングの楽しみ方いろいろ：拾った物がどうしてここに来たのかお話を作ってみる／図鑑で見つけた生物を比較してみる／拾ったものでクラフトを作る／その地方特有の漂流物に点数をつけて、拾った数を競う／写真に記録したり、標本を作ったりする／異国の文化を知る／潮の流れなど海に関することを調べてみる／ゴミなどから環境などについて考える

<次回はビーチコーミングで収集した漂流物でクラフトに挑戦します>

展開や注意事項

- 水辺での活動なので安全管理はしっかりしましょう。
- 拾った流木は2、3日真水につけて塩抜きし、天日で乾かします。
- 河原や湖畔にもいろんなものが流れ着いています。
- 漂着物を収集する一方で、もう一つ袋を持って、ゴミ拾いをすることもよいと思います。

★ アクティビティ大募集 ★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践してくださる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください！（目次頁下段の宛先まで）

全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

⑦ 日米結ぶ友情～日米無名スカウト戦士の碑 こどもの国・神奈川

『スカウトハンドブック』等でも紹介されている、「アンノウン・ソルジャー（無名のスカウト戦士）」の話は皆さんご存知のことと思います。太平洋戦争の末期、南洋の島々で繰り広げられた日米の激しい戦闘の中、負傷し孤立した一人のアメリカ兵を名も告げずにそっと助けた日本兵。ともにボーイスカウトであった二人をめぐるこの逸話は、生還したアメリカ兵からアメリカ連盟に伝わり、「これこそ真の兄

長の話し合いが持たれ、その内容が厚生省児童局養護課の山崎昌矩氏による記録に残されています(以下抜粋・一部省略して紹介します)。

<久留島> 日本政府から返還をお願いしているが、大変難しいように伺っている。司令官閣下のご配慮を得たくてお伺いに来た。(中略)

<バーズ> その件は日米施設委員会において、現在その管理を解除する予定は持っていない。(中略)

<久留島> 「こどもの国」は、皇太子殿下のご結婚記念事業として計画されているもので、殿下は寄付金をこどもたちの健全育成に役立てたい、都会のこどもたちに牧場やミルクプラントの実態をじかに見せてやりたいといわれている。

<バーズ> その計画が皇太子殿下のご結婚記念事業であることを伺った。これは大変重要な問題であると認識した。再度幕僚に検討を命じることとする。ところで貴方は以前カリフォルニアのジャンボリーに来られたことがありますか。

<久留島> 40人ほどのスカウトの代表を連れて行きました。すばらしい多くの思い出を持っている。

<バーズ> 私もアメリカのスカウト代表の一人として、あのジャンボリーに参加していた。

～ このあとバーズ司令官と久留島理事長は、そのジャンボリーでの共通の思い出を確かめ合い、その日の会合が25年ぶりの再会であったことを知ります。この会合が、そして二人のジャンボリーの思い出が、こどもの国の設立に少なからず貢献したことが伺われるエピソードです。



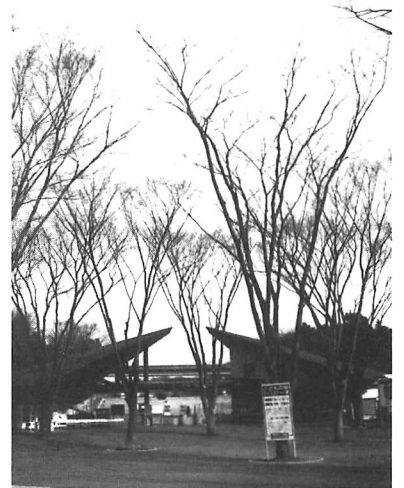
弟愛である」と、各地で紹介され反響を呼びました。昭和27(1952)年、アメリカ連盟の専従指導者C.M.フィンネル博士が来日した際、この話が日本に伝わり、その後久留島秀三郎理事長(第3代総長)らが中心となって、記念碑製作のための募金活動が展開されました。そして、昭和41(1966)年、日本中のスカウトの募金運動によって完成した「日米無名スカウト戦士の記念碑」がこどもの国に贈られ、開園1周年を迎えたこどもの国で、日米のスカウト2,500人余りが参列して除幕式が盛大に行われました。

さて、「日米無名スカウト戦士の記念碑」が今も置かれている「こどもの国」ですが、実はその設立時からボーイスカウトと深いご縁があったそうです。



こどもの国は、昭和34(1959)年の皇太子殿下(現天皇陛下)のご結婚を記念して、全国から寄せられたお祝い金をもとに、昭和40(1965)年に建設されましたが、その用地は当時日アメリカ軍の管理下にあり、日本政府からの返還要求はなかなか認められなかったそうです。そうした状況の中、昭和36(1961)年3月、日アメリカ軍司令官ロバート・バーズ中将与、政府の中央児童福祉審議会・中央児童厚生施設特別委員会委員長であった久留島秀三郎理事

休日には多くのこどもたちで賑わう「こどもの国」。随所に様々な遊具が置かれ、豊かな緑に囲まれたその広大な公園には、スケートリンク、牧場、キャンプ場などの施設もあります。園内に多数植えられた梅の木は、春になるとすばらしいその色彩で訪れる人々を魅了します。その梅林の美しい一角に、今も「日米無名スカウト戦士の記念碑」と、そのレリーフに三指の敬礼を贈るスカウトの像が、ひっそりと佇んでいます。



アクセス

〒227-0036 横浜市青葉区奈良町700番地

○東急田園都市線・JR横浜線「長津田」駅からこどもの国線乗換約7分「こどもの国」駅下車。

徒歩2分。小田急線「鶴川」駅からバス約15分。

○東名高速道路「横浜・青葉IC」・「横浜・町田IC」から車で約20分。ただし休日は駐車場・周辺道路とも大変混雑。

○入場料：幼児100円、小中学生200円、高校生以上600円。30人から団体割引あり。

○毎週水曜休園。ただし祝日の場合は開園。

○問い合わせ先 こどもの国

Tel: 045-961-2111

URL: <http://www.kodomonokuni.org/>



救急法講習会開設推奨ガイドライン

本誌 2006 年 2 月号でお伝えしました、技能章「救急章」の新しい考査細目が、移行期間を終えこの4月より正式施行となります。これに伴い、各地区、県連盟等で開催される救急法講習会のガイドラインが新しくなりましたので、ご紹介します。[救急章の課目、講習会細目については右記を参照]スカウティング2006年2月号14～15頁、日本連盟規定集（平成18年版）142～144頁

日本連盟教育規定 第12章 進歩課目

12-20-2 (施行細則)技能章課目

3. 救急章

(1) ボーイスカウト救急法講習会を修了する。

【解説】最近では各隊、団、地区、県連盟等では日本赤十字社や消防署等による救急法講習会が広く利用されています。しかし、講習会の内容によってはボーイスカウト救急法講習会細目のすべてを履修しているのではないため、実施されない細目については別途履修すべき内容を明らかにしました。ボーイスカウト救急法講習会細目について、最近の心肺蘇生法の動向やボーイスカウト救急法の位置づけの再確認を行い、内容を修正し、本細目の参考として講習会細目を示します。

(2) 隊の救急箱を整備し（未整備品、充足・不足物品のリストアップを含む）、そのチェックリストを提出する。

【解説】救急箱の内容を把握し、いつでも使用できる状態にしておくことが大切であるため、物品の整備内容をより具体的にし、未整備品、充足・不足物品のリストを作成してください。そして正しい使用方法を習得させてください。

(3) 県連盟、地区単位で設置される救護所の奉仕や隊活動、キャンプでの救護係を通算5日以上担当し、その報告書を提出する。

【解説】机上の勉強に加えて、現場の救護所において現実の傷病に接し、医師・看護師・救急救命士などの医療従事者から直接指導を受けることにより、診るポイントや応急手当の手法を実地で体得することが最良であるので、そのような機会があるときには救護所設置担当者に「救急章考査の一環」であることを説明し、指導協力を要請し積極的に参加させてください。

また、より多くの傷病に接し実践を経験するために、通常の隊活動やキャンプなどで救護係を最低5日間以上担当し、積極的に傷病に関わっていただく。

そして、救護所や隊活動、日常生活で遭遇した、複数の傷病について、行った手当などの経過をまとめ、報告書を作成してください。報告書は決まったフォームはありませんが、一例として、傷病者の識別《氏名(名、姓、の順のイニシャルでも可)、年齢、性別》、発生日時、発生状況および原因、傷病の状態（訴えや症状、ケガの状態）、行った応急手当、手当後の行動（活動に復帰・病院に搬送・帰宅等）などを記載してください。

●考査における注意

隊長は講習会や訓練を受けたという事実のみを承認し、考査項目を履行できるか否かの評価は必ず考査員の方が確認してください。救急章の考査員は指導員として実際に指導できる医師、看護師、日赤救急法指導員、救急救命士などがその任に就くことを推奨します。

以下の講習会細目は技能章考査細目（教育規定）ではありませんが、救急章考査細目に関連性があるため「参考」として規定条文に付加されています。

<参考>ボーイスカウト救急法講習会細目

1. 救急法の基本

【解説】外傷や内科的疾患などにかかわらず、応急手当を含む救急法の基本は、まず傷病者の状態を十分に観察し、適切な判断で、最適な手当を行い、最良の結果を出すことです。そのためにはまず手順を説明し、それぞれの手技が何のために必要であるのか、なぜしなければいけないのか、しなければどうなるのか、禁じられていることはどのような理由で禁じられているのか、を十分に理解させてください。

2. 心肺蘇生法

【解説】心肺蘇生法は命を救うためにあることを理解させてください。そのためには確実に、正確にできることが大切です。形だけでできていても、有効な人工呼吸や心臓マッサージでなければやっていないのと同じで、上手くできなければ「不幸な結末」につながるかもしれないことを理解させてください。

心肺蘇生法は、アメリカ心臓協会から発表されている「ガイドライン2005」に準拠してください。

3. 止血法

【解説】止血法は直接圧迫法と止血帯法（緊縛止血法）の2種を習得させてください。ほとんどの出血はこの方法で止血できます。止血帯法では緊縛の際のいくつかの注意事項や開放のタイミングなどがポイントです。間接圧迫止血法としての指圧点止血法を教える講習やテキストもありますが、通常の止血法では止血できないような精神的重圧を感じている状況下で、また動脈の正確な経路、流れ方を把握していない者がその正確な部位をピンポイントで同定することは不可能なため、また現実的にはあまり止血効果としては有効ではないため、ここでは採用しません。

4. ショック

【解説】一旦ショックに陥ったときには一刻の猶予もありません。そのショック状態とは身体がどういう状態になることをいうのかを知り、万が一ショックに陥ったときに少しでもショックを進ませないようにするためにはどのように対応すればよいのかを教えてください。

5. 食中毒

【解説】 発症してからの手当てを考える以前に、予防し、発生の拡散を防止することが重要であり、それが可能であるということ認識させてください。食中毒予防の原則を理解させ、そのうえで発症したときの手当てを行えるように指導してください。

6. 一酸化炭素中毒

【解説】 発症してしまっただけからは一般の手に負えるものではないので、ここではその予防について十分に指導してください。たとえばテント内でのバーナーなどの燃焼物の使用や、屋内での不完全燃焼に対する知識などが重要です。

7. 熱中症

【解説】 熱中症で大切なことはまず予防することで、それが十分に可能であるということ認識させてください。逆にいうと、熱中症が発生するような状況下での活動は、指導の失策といえます。万が一発症してしまったらその症状から重症度を推測し、直ちに応急手当を施し、必要であれば受診させるという判断力が要求されます。現場での手当てで解決できるのか、あるいは病院へ搬送する必要があるのかという判断は非常に難しいですが、まずはしっかりと基本を押さえておくことが重要です。

8. 頭部外傷

【解説】 外傷の中でも活動中によくある頭部打撲について、その重要性を理解する必要があるため新設しました。頭部打撲のすべてを受診させる必要があるわけではありませんが、帰宅後も含めた受傷後の経過をよく観察することが大切です。そのためにはどのような状態になったときに受診させるのかを理解しておく必要があります。

9. 骨折、捻挫

【解説】 前腕は、転倒時に手首の骨折を起こしやすいため新規採用。大腿骨の骨折は、腰まで一体にして固定するという特殊な方法であり、他と若干の差異があるため新規採用しました。患者の苦痛を和らげ、状態の悪化を防ぐために適切な副子固定が必要であることを教えてください。その副子固定は患部の上下2関節を固定するのがポイントです。

10. きず等

【解説】 傷病に対する正しい応急手当（やること、やっではないけないこと）を知る必要があります。たとえば清潔を保つこと、異物を付着させないこと、苦痛を和らげることなどが基本です。

特にやけどや切りきず、腹痛は頻繁に遭遇するので、正しい知識と応急手当てを習得させてください。そして一般に行われることのある、いわゆる民間療法の類は避けてください。これは不適切な手当てをすることによりよくない結果を招くことを避けるためです。

11. 動・植物による被害

【解説】 野外での活動で遭遇したときに意外とどうしてい

いのかかわからず、その手当てに困ってしまうのがこれらによる被害です。まずこれらの生物の生態を知り、被害に遭う前に予防できるものは予防することが賢明です。被害に遭った場合、それぞれのきずには特徴があり、またその手当てにもそれぞれに応じたポイントがあります。その特徴と応急手当てのポイントを押さえてください。

12. 搬送法

【解説】 傷病の程度や救助人員に応じ、一人法から三人法までを使い分け、最適な方法で搬送します。

ボーイスカウト進歩課程「B群健康と発達」の「B-05 救護 1」では、急造担架の作成・搬送が既に取り入れられており、担架の搬送では不安な傷病者が安心して、安全に運ばれるように心がけてください。

13. 救急要請

【解説】 救急車を要請するときには欠かせない情報があり、それを的確に救急隊に伝えなければ余計な時間を費やしてしまいます。また、救急車は緊急のときに限り利用するもので、自家用車やタクシーで病院に行ける程度の状態や慢性の症状で病院を受診するなど、不適切な利用をしないよう、正しい救急車の利用なども指導してください。

●AEDについて

(Automated External Defibrillator: 自動体外式除細動器)

昨今、大変な勢いでAEDが普及しており、ほとんどの公共の場所に設置されています。ボーイスカウトでも所有しておられる県連盟、地区などがあることと思います。しかし、未だその講習会が受けられない地域もあることを鑑み、今回改定された救急章の考査項目にはAEDは含めておりません。心肺蘇生法が「ガイドライン2005」に準拠する以上AEDは不可欠と思われるため、今後細目の中にもり込む予定です。今回の細目には掲載されておりませんが、講習を受けられるのであれば積極的に受講してください。

●あらためて、救急法の重要性について

救急法、応急手当ては実践でできて初めて習得しているといえるものであり、またいつ必要になるかわからないものなので、「そなえよつねに」でなければなりません。そして、日頃よりトレーニングをしていなければ確実に忘れてしまいます。スカウトも指導者も公民の姿勢として社会奉仕に役立つために日々研鑽し、少なくとも2年に1度は講習を受け、リフレッシュ、あるいは年次更新するように心がけてください（ちなみに赤十字救急法では有効期限を3年、消防署救命講習では2から3年間隔での定期的な再講習を行うこと、と設定しています）。「日本のボーイスカウトは全員応急手当てができる」というのはすばらしいことではないでしょうか。

ボーイスカウト日本連盟教育本部
安全委員会

～ 読書の勧め ～

宗教関係者代表会議構成員 寺井 種治

私は、かつて自分が両親にしてもらったように、夜眠る前や家族と一緒に時間が過ぎせるときには息子と娘に本を読んで聞かせています。それはお伽話や昔話や童話や神話など様々な物語です。子どもたちはそれがたとえ同じ話であっても、何度も「あれ読んで」「また読んで」と私にねだります。

同じようにして育った私は本が大変好きになり、小学生になると読書が習慣となり、様々な本を読みました。日本文学や歴史小説や推理小説からエッセイまでいろいろな分野の本を読みました。読み進めて行くうちに、次はどうなるんだろう？ 早く次のページが読みたい！ そんな高揚した気持ちで夜遅くまで読み耽りました。

本の中では実生活では決してないような冒険やドラマティックな出来事などが思う存分体験できます。そして読書をする中で培った文章力や想像力を実生活で生かすことで、現在、子どもたちに一番不足しているとされる「生きる力」が得られるのです。最近では子どもたちの「活字離れ」や「国語力の低下」「コミュニケーション能力の低下」が叫ばれています。これには様々な原因が考えられますが、その一つにコンピュータやインターネットや携帯電話の普及があります。

しかし、社会全体での本の出版数は年々増加しており、また小学校などでも「朝の読書の時間」などが設けられているところもあり、これが原因だとは一概にはいえません。現代の超情報化社会の中で自分が知識として何を知りたいのか？ 溢れ出す情報から正しいものを引き出すためには、その基礎である正しい「国語」を必ず身につけなくてはなりません。そしてそのためには、いい本を読まなければならないと思います。

皆さんも時間を作ってぜひ多くの本を読み、感受性を磨き、そしてそれをスカウティングに活用してください。



おすすめの一冊

藤原正彦氏は数学者で、ベストセラーとなった『国家の品格』の著者でもある。

現在、「ゆとり教育」が見直されているが、藤原氏は早くからそれに危機感を持ち、国語こそがすべての知的活動の基礎であると説き、読書が教養の土台であり、教養は大局観の土台であると述べている。本を読むことで情緒が養われ人間のスケールを大きくする。祖国とは国語である。すなわち国語の中に祖国の文化伝統などの大部分が包含されていて、国語を学ぶことで祖国愛が生まれる。そして何より大切なのは、この祖国愛を持つことなのである。英語の授業時間を増やすことや英語第二公用語論があるが、何より国語教育の徹底をすることが重要だと本書を読んで痛感した。

『祖国とは国語』 藤原正彦／著

発行：新潮文庫 価格：420円（税込）

INFORMATION

MARCH 2007

日本連盟からのお知らせ

■政策委員会(第1回)の開催(報告)

日時: 1月12日(金)16:00~17:00

場所: 東京・八重洲倶楽部

出席: 古賀委員長他4人

主な議題: 1. 政策委員会の基本方針と、今後の進め方について

2. スカウト運動推進委員会の状況と、現状の重要課題について

<政策委員会について>

スカウト運動推進委員会が3月の理事会に最終報告を提出するスカウト運動「推進課題」の19年度以降の実施段階におけるサポート役として設けられた政策委員会。都道府県連盟や教育本部との連携をとりながら、以下の業務に取り組んでいきます。

- ①「推進課題」の事業展開をフォローアップし、支援に努める。
- ②「推進課題」のうち「さらに検討する」とされている事項を引き続き検討し、提案していく。
- ③「推進課題」の内容をさらに精査し、不足しているものなど新たな課題の提言をしていく。

今回の会議においては、上記の任務を確認し、スカウト運動推進委員会と今後の引き継ぎ日程などを調整し、あわせて推進課題の内容を詳しく共有しました。

■臨時理事会の開催(報告)

日時: 1月17日(水)14:00~17:10

場所: 東京・尚友会館

出席: 橋本理事長他18人

- 協議事項: 1. 平成18年度補正予算について
2. 平成19年度事業計画(案)について
3. 平成19年度収支予算(案)について
4. 23WSJ日本招致に関わる予算について
5. スカウト運動推進に関する提言書について
6. 教育本部コミッショナー・教育本部副コミッショナーの選任について

■県連盟コミッショナー会議(第3回)の開催(報告)

日時: 1月20日(土)13:30~21日(日)13:30

場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

出席: 篠田・清水教育本部副コミッショナー 県連盟コミッショナー44人(代理者7人を含む)、廣瀬23WSJ日本招致委員長(副理事長)、上道プログラム委員

長、戸部トレーニング委員長
講師: 教育再生会議有識者 門川大作氏(京都市教育委員会教育長)

主な内容: 1. 講演「今後の地域教育が担う役割について」

2. アクションプラン評価

3. 事業報告

4. 23WSJ日本招致について

5. 平成19年度事業計画について

6. 情報交換・質疑応答 他

■23WSJ日本招致委員会

会場選定部会(第2回)の開催(報告)

日時: 1月21日(日)14:00~17:00

場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

出席: 篠田部会長他3人、参席1人

協議事項: 1. 各候補地の状況について

2. 会場選定の基準について

3. 候補地視察について

4. 今後の作業日程について 他

■世界スカウト運動100周年記念 平成19年度全国大会実行委員会(第5回)の開催(報告)

日時: 1月22日(月)14:00~16:30

場所: 東京・日本工業倶楽部

出席: 橋本委員長他5人、参席1人

協議事項: 1. 全国大会実施内容の具体化について

2. 記念レセプションの実施概要について

3. 今後の準備スケジュールについて

■傷害共済運営委員会(第8回)の開催(報告)

日時: 1月23日(火)12:00~16:00

場所: 東京・八重洲倶楽部

出席: 岡谷委員長他7人

協議事項: 1. 給付金の支払いについて

2. 平成18年度事務取扱手数料の還付について

3. 平成19年度以降の運用について

■臨時評議員会の開催(報告)

日時: 1月27日(土)14:00~17:10

場所: 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

出席: 評議員および代理者56人、参席6人

協議事項: 1. 平成18年度補正予算について

2. 23WSJ日本招致に関わる予算について

3. 平成19年度事業計画(案)について

4. 平成19年度収支予算(案)について

5. スカウト運動推進に関する提言書について

6. 教育本部コミッショナー・教育本部副コミッショナーの選任について 他

<平成19・20年度 教育本部コミッショナーおよび教育本部副コミッショナー>

○教育本部コミッショナー

井上 保(東京・新任)

○教育本部副コミッショナー

清水利英(山梨・再任)

山田明良(兵庫・新任)

任期: 平成19年4月1日~平成21年3月31日

今月の会議・行事

3(土)

23WSJ 招致委員会 東京・BS会館

4(日)

トレーナー研究集会(愛知会場)

愛知・愛知県産業貿易館

11(日)

政策委員会 東京・BS会館

11(日)

教育本部常任会議 東京・BS会館

15(木)

評議員会 東京・国立競技場

18(日)

新任副リーダートレーナー研修会

東京・BS会館および大阪・pia NPO

24(土)~25(日)

富士章受章スカウト顕彰 東京・NYC

24(土)~25(日)

トレーニング委員会 宮城・ホテル大観荘

25(日)

中央名誉会議 東京・NYC

28(水)

理事会 東京・尚友会館

31(土)~2(月)

21WSJ 派遣団長会議 イギリス

■2月号7頁に掲載した平成19年度指導者訓練機関開設予定のうち、2月号発行以後に決定・変更になったもの(太字部分)をお知らせします。(平成19年2月13日現在)

(1) ウッドバッジ研修所

<ビーバースカウト課程>

4 群馬 第17期 **5/3~5/6**

高崎市観音山キャンプパーク・ジョイナス

<カブスカウト課程>

3 福島 第14期 **5/3~5/6**

つつじが森野営場

5 群馬 第**35**期 **5/3~5/6**

安中市学習の森

18 兵庫 第64期 5/3~5/6

加古川市立少年自然の家野外活動センター

22 岡山 中国・四国第**7**期 10/5~10/8

新見市備北青年の家

<ボーイスカウト課程>

4 群馬 第32期 **9/15~9/18**

太田市金山青年の家

<合同課程>(試行)

3 新潟 第2期 **5/3~5/6**

みつきさわ野営場

(2) 団運営研修所

6 新潟 第5期 10/6~10/8

妙高市妙高園

13 兵庫 第16期 5/4~5/6

兵庫県高等学校野外活動センターあさざり寮

(4) 日本連盟開設指導者訓練機関(定型訓練)

<成人指導者訓練>

団委員長セミナー(仮称) 第1期

11/23~11/25 那須野営場

※今後の変更については日本連盟ホームページに掲載します。

www.scout.or.jp/j/info/training/training_plan.html

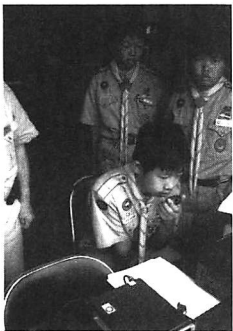
■第49回ジャンボリー オン ジェア(JOTA)

第10回ジャンボリー オン インターネット(JOTI)の報告

10月21日(土)~22日(日)にかけて、世界的な行事として開催されました。

<JOTA> 報告書58件881人

ボーイスカウト会館では、日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブによる8J1S(cout)の運用が行われました。スカウト局を含め国内約200局との交信ができましたが、外国のJOTA参加局との交信は、電波状態が悪く、香港島スカウト連盟のみでした。埼玉・入間第3団の無線免許を取得したばかりのスカウト5人が指導者2人に引率され、無線局スタッフの指導を受けながら交信を行いました。



この日、ボーイスカウト会館では、第21回世界スカウトジャンボリーのIST準備訓練が行われており、檀上国際委員長他見学者を含め2日間で延べ50人の訪問がありました。

野営場(愛知連盟新城・吉川野営場、福岡県連盟脇山野営場、熊本第19野営場)や青少年施設(福島連盟・千葉県連盟)から運用する局があり、交信が盛んに行われていました。香港やドイツからはJOTAの情報がメールで寄せられました。

主な参加局:

| | | |
|----------|-----------|------------|
| 8J100S/1 | 県青少年婦人会館 | 千葉県連盟RS研究会 |
| JH2YSS | 新城・吉川野営場 | 愛知連盟ARC |
| JA4YSS | 鳥取市 | 中国支部 |
| JG6YBJ/6 | 脇山野営場 | 福岡中地区ARC |
| JR7YSS/7 | 警視庁青年交流の家 | 福島連盟 |

<JOTI> 報告書28件445人

通信件数については、「掲示板への書き込み、チャット参加を含めて多数」との報告が多くありました。

報告書の提出者には、世界スカウト機構が作成した参加証(はがき大)が交付されました。

記念カード



参加証



100周年のアマチュア無線に関する情報は、世界スカウト機構のホームページのJOTA・JOTIをご覧ください。

3月21日には、オマーン創立75周年・第1回ITスカウトジャンボリー(A470S)、8月には、第21回世界スカウトジャンボリー(GB100J)などで運用される予定です。

ご支援ありがとうございます

*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいた個人・法人会員の方々です。

2006年度12月度

- 【北海道】 田板 千代三 石原 真二
森 村山 正 渡辺 勝彦
BS江別2育成会 下川 浩 柴山 東一郎
BS羽幌2 杉山 晃 岡谷 篤一
BS札幌12 樋口 栄治 岡谷不動産(株)
上川地区 樋口 栄治 伊藤 智是
西岡 浩 横田 雅典 伊藤 澄雄
(株)ホクシン 馬場 幸雄 伊藤 三重
- 【青森】 (株)七里商店 服部 久司
江渡 順 セコム上信越(株) 岡部 克二郎
- 【岩手】 (株)田村商店 【京都】
工藤 熊 海発正之 建内 光儀
熊谷 徹哉 静岡和憲 鈴木 勝彦
内宮 眞 吉田 六左工門 【兵庫】
佐々木 和彦 渡辺 誠 宇賀 芳樹
【宮城】 高橋 憲男 赤松 衛一
郷家 智道 西山 好英 川勝 賢一
平岡 威 (株)タカヨシ 金谷 行雄
菅野 五郎 蒲原 鉄道(株) 木堂 一美
【秋田】 (株)ホテルオークラ新潟 城戸 重雄
安田 孝司 清水 修 村岡 真純
下妻 正順 (株)酒井鉄工所 西條 則一
伊藤 道嗣 (株)スガイ 永広 逸子
浅利 昭 (株)三善建築設計事務所 榎根 義隆
成田 松太郎 【富山】 東森 文昭
佐藤 昭 鹿熊 安正
藤原 隆 荒木 甚一
小玉 武 【石川】
BS秋田連盟 中野 京子
県議会議員懇談会 畑中 勝三
【福島】 大和 商会 【大阪】
西山 義一 立正佼成会磐城教会 勝倉 彰三
五十嵐 康善 宮本 勝
和合 治幸 西畑 光広 喜多 文夫
【群馬】 BS坂井5 占部 訓寛
萩原 修音 曾根 輝夫
【埼玉】 橋本 安彦
小出 義昌 小口 進一郎 【鳥取】
北橋 健吉 宮下 貞夫 門脇 好登
藤倉 幸親 出田 行徳 【島根】
河原 一仁 熊谷 正輝 小川 喜多男
亀井 實 森 正晴 【岐阜】 岡山
【千葉】 木村 和幸 昭和被服総業(株)
島山 暹 木村 芳郎 (株)自光モーターズ
島 孝之 上田 明範 【広島】
秋屋 忠夫 遠藤 克己 脇川 喜久雄
遠山 兼宏 遠藤 真弓 植野 武
石川 勝己 松川 美生 杉 葉 昭男
田中 明示 長田 璋 藤田 恵子
上田 眞智代 渡辺 正彦 B S 下関 6
大槻 みな子 大川 靖夫 池田 信幸
【神奈川】 外山 吉保 勝田 市川
青木 身行 川島 一郎 【香川】
鈴木 武道 清水 英範 堀 方 茂
鈴木 令子 杉山 盛雄 塚 信 夫
(株)楽野サービス社 鈴木 喜代志 塚本 修
木村 耕三 前澤 久雄 香川 芳文
池田 真一 吉川 雄二 【愛媛】
竹田 昭俊 【愛知】 加藤 尚正
竹田 英俊 浅井 裕己 中野 まり
【山梨】 佐藤 重房 【高知】
渡辺 好子 山村 截 東條 美紀
【東京】 瀬野 義隆 森木 弘恭
鴨下 尚三 近藤 克彦 【福岡】
春日 弘之 渡辺 光雄 守部 巖
吉村 利信 斉藤 茂美 鶴 我 直
藤田 義栄 肥田 荘治 松尾 登
才郷 正次 伊藤 祐一

- 【佐賀】 大野 晴治
原口 誠 藤井 俊一
【長崎】 北西 公男
道向 豊 櫻井 洗
高見 英明 中井 健 野島 茂
(五)光善会百合野病院 小渡 亨 今本 任孝
園田 郁夫 宮平 永治 森 芳衛
長野 宏樹 【日本】 西原 清博
【熊本】 石島 織維(株) BS堺16育成会
藤本 伸一 石島 寛 小倉 久信
脇岡 嶺 山崎 拓 丹菊 仁喜男
【宮崎】 倉田 寛之 鈴木 節子
荒武 良治 与謝野 馨 松沢 恵
田村 努 松原 俊文 森田 了栄
田辺 省子 藤間 秋男
玉城 稔 前原 一雅

Topics

鳥インフルエンザに関する情報

本年各所での発生が報道されている、いわゆる「鳥インフルエンザ」についてお伝えします。

【高病原性鳥インフルエンザとは】

鳥が一斉に大量死するような「高病原性鳥インフルエンザ」は、自然界の野鳥が昔から持っている鳥インフルエンザ(ほぼ無害)と異なり、養鶏場など極度に密集する場所で突然変異的に発生するものです。養鶏場などの発生から野鳥に感染することは心配されるので、家禽と野鳥が接触しない策を講じることは重要です。宮崎県などでの調査では、今のところ野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスは見つかっていませんし、海外でも野鳥が高病原性鳥インフルエンザを伝えたということは確認されていません。

【人間への影響】

養鶏場で働く人など、極度に多くの接触を持つ人の感染例はありますが、通常はほとんど心配ありません。卵や鶏肉を食べることによる感染例も現在のところありません。

人間への影響という意味では、感染した家禽の処分をはじめ、感染防止策に伴う経済的影響や風評被害が心配されています。

【野外活動での注意】

1. そとと観察するのみ

野鳥に「高病原性鳥インフルエンザ」の心配はほとんどありませんが、野鳥に限らず野生生物は他にも様々なウイルスや細菌を持っています。「接触したり、追い立てたりすることなく、そのままの姿をそとと観察するのみ」という原則を守ってください。

傷つき動けなくなった野鳥などを保護する場合は、素手で扱わず、さらに扱った後必ず手を洗うようにします。

2. えさ台などは衛生を保つ

庭や野営場などに、飛来する野鳥の観察のためのえさ台などを設置している場合は、こまめに糞の掃除をするなど衛生を保つよう心がけてください。

3. もし大量死を発見したら、近寄らずに通報

1羽の死骸を発見しても「高病原性鳥インフルエンザ」の可能性は極めて低く、極度に恐れる必要はありません。もし鳥の大量死を発見した場合はその他の毒物などによる事件の可能性もあります。接近を避け、早急に警察、保健所、家畜保健衛生所などに通報してください。

詳細は、以下のホームページをご覧ください。

勸日本野鳥の会 www.wbsj.org/
厚生労働省 www.mhlw.go.jp

島根

□ハンド・イン・ハンド募金

松江第5団 ポーイ隊長 那須 智浩

年末の恒例行事です。ここ数年は荒れた天気が続いていますが、寒さに負けずみんな元気よく声を出して頑張りました。

山陰中央新報 (2006.12.19)

松江のボーイスカウト 開発途上国への支援活動 二年から協力しており、動の一環として松江市内 開発途上国の恵まれないのボーイスカウト団員ら 子どもたちの支援を目的が十七日、松江駅周辺で街頭募金を実施し、休日を明け、活動への協力をお願いした。この日は冷たい雨が降る路上で、活動への協力をお願いした。この日は冷たい雨が降る路上で、活動への協力をお願いした。この日は冷たい雨が降る路上で、活動への協力をお願いした。

開発途上国の子どもも支援を 街頭で募金活動



ウチ隊副長の沢真吾さん (5)は子どもたちの元気な声を聞いて嬉しそうに話を聞いていた。

山形

■救急法講習会開催

事務局長 堀川 広訓

山形県連盟の恒例行事「BS救急法講習会」を12月10日(日)山形市霞城公民館にて開催しました。

日本赤十字社の講師資格を持つ菅原県連盟副コミッショナーの指導のもと、ベンチャースカウト10人、リーダー4人(新聞記事では13人となっています)が受講しました。



団員が救急法を学んだボーイスカウト救急法講習会 山形市霞城公民館

心肺蘇生「難しい」

山形でボーイスカウト団員ら講習会

ボーイスカウト県連盟 習。人形を心肺停止状態にある患者に見立て、人工呼吸や心臓マッサージ、自動体外式除細動器(AED)の使用方法を実践した。参加した天童市長岡北四丁目、寒河江高一年新関真さん(16)は「見た目以上に難しかった。高校ではカヌー部に所属しているが、いざという時に練習の成果を生かしたい」と話していた。

山形新聞 (2006.12.12)

ボーイスカウトの活動はキャンパス場を郊外で行うことが多いが、同連盟は救急隊の到着まで団員が正しい応急処置ができるように、三十年ほど前からほぼ毎年、救急法講習会を開催している。

とう 桐 花 園 えん

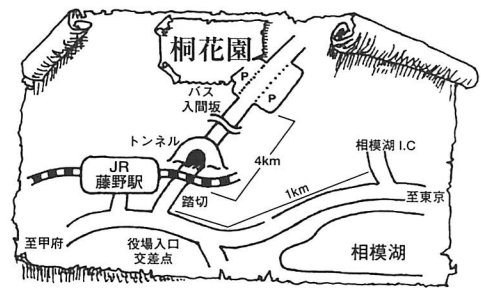
特典 スカウティングのこの頁をお持ちの回は営火(CF)をサービス

都心から70分のリフレッシュゾーン

- ☆ バンガロー・キャビン 35棟 (250人収容)
- ☆ 民宿・合宿所 (100人収容)
- ☆ テント 10張
- ☆ プール (屋外・屋内2面) テニスコート有

相模湖に近く、陣馬山、生藤山の麓に位置する緑に囲まれたキャンプ場です。ファミリーや教育団体関係の利用が多く、ボーイスカウト活動にも最適の環境です。カブスカウト(舎営)と、ボーイスカウト(野営)と一緒に活動できるのも魅力のひとつです。

- 藤野駅から送迎無料 (4km)
 - カブパックA ¥5,100 (1泊3食・税込) ⇒ 寝具お持込の場合 ¥4,800 (込)
 - 大人 ¥5,500 (1泊3食・税込) ⇒ 寝具お持込の場合 ¥5,200 (込)
 - 《バンガロー・寝具(シーツ別)・入浴・食事代込》
 - カブパックB ¥5,800 (1泊3食・税込)
 - 大人 ¥6,300 (1泊3食・税込)
 - 《民宿及び合宿所～宿泊・寝具・入浴・食事代込》
- ※3食の中で一部自炊やカブ弁当も料金内で可能です。
※カブパックは2泊3日以上です。



- 中央高速相模湖I.C右折 1km
 - 信号4つ目役場入口交差点右折 4km
 - 中央線藤野駅下車 バス和田行(10分)入間坂下車1分
- 〒199-0201 神奈川県津久井郡藤野町佐野川1822
TEL 0426-87-2239・3582
FAX 0426-87-3159
http://www.tokaen.jp

読者の声

～2月号の記事について～

●表紙

- ◇スカウトたちが何にカメラを向けているのか、想像をかきたてられる。
- ◇靴もしっかり揃えてあり大変よい。

●ステップアップ100意欲的な団に聞く

- ◇全部門達成団に共通しているのは、地域や保護者を積極的に巻き込んでいるところ。とても参考になりました。
- ◇団としてしっかりと取り組んでいる様子がわかり、羨ましく感じた。
- ◇成功団や隊の情報を多角的に分析して、現場にフィードバックしてほしい。
- ◇県連絡差がありすぎることに驚いた。がんばれば担当コミッショナー!
- ◇取得率は全国の8.7%。チェックシステムに問題があるように感じる。最終年度を迎え70%以上の団が何らかの賞を取得できることを期待する。

●隊指導者研修のすすめ

- ◇清水さんのお話が平易なのに説得力があり、よい記事になっています。
- ◇各種コースを修了された方のインタビュー等を入れるとどうでしょうか。
- ◇各課程の実地レポートなどの記事を掲載してみるのもよいと思います。
- ◇研修所、実修所の前にもっとキャンプ技術、料理や食料保存法、クラフト、自然観察など野外活動の基本を学ぶ講座が必要だ。指導者の野外活動の技能の低下を感じる場面が多い。
- ◇研修所や実修所を修了すると団や地区の役員にされる慣習があり、研修意欲を阻害している面もあると思います。

●日本連盟傷害共済制度について

- ◇他の傷害保険にない特別特典で差別化を明確にしてほしい。
- ◇保険に関しては、具体例がほしいという要望が多い。Q&Aを設置して。

●全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

- ◇皇族の方々の臨席など発足当初から活動が認められていたことに感激。大会の規模等にも触れてほしかった。

●隊活動のヒント

- ◇現場指導者の投稿掲載はとても良い。具体的な集会の様子が伝わってきた。
- ◇登録審査時に隊記録の中から紹介したいプログラムを提出させるようにしてはどうか。企画立案から報告書作成過程を積み重ねることでプログラムの質の向上が全国的に図れると思う。
- ◇BVS、CS、BSと毎月1頁このコーナーを継続連載すればさらによいと思う。

●活動自慢コンテスト作品紹介

- ◇スカウトたちががんばってやり遂げた実感が伝わる内容だった。
- ◇ボーイ年代でここまでできるのかと驚いた。グリーンパートレーニングがよくできているのだなと思った。
- ◇反省事項がよく書かれており、すばらしいと思います。また次回、この反省がどう生かされたか紹介してほしい。

●団・地区・都道府県連盟だより

- ◇名古屋のお話、やはり人が組織を作り動かすということがよくわかりました。
- ◇鹿児島、地域の他団体との協働の報告は今後の指針となると思います。

●読者の声

- ◇「お小言」も掲載し、よい。改善したことは「いついつの提案、このようにしました」という記事を載せるとよい。

●B-Pの教えをきく

- ◇ぜひすべての成人指導者に読んでほしいと感じました。マンネリにならず、原点を見つめ直す意味ですばらしい。
- ◇B-Pの著作物はすべて収集するように努力して、日連にある原書はすべて翻訳して発売してほしい。

●その他フリートーク

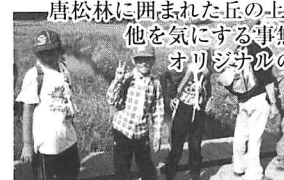
- ◇富士スカウトや国際キャンプスタッフのリユニオンを開催してはどうか。特に30～40代で仕事に追われてスカウト活動に参加できないメンバーの声から組織拡大のヒントが得られると感じる。
- ◇スカウト技能向上やスカウトの進級意欲をバックアップする記事がほしい。
- ◇サラリーマン川柳のように『スカウト川柳』があったら楽しい。
- ◇隊指導者の活動ヒントがもっとほしい。頁を増やしていきたいですね。
- ☑ 読者が増えると印刷単価が下がり、増頁が可能になってきます。皆さんのお仲間にも本誌購読をお勧めいただきますようお願いいたします!
- ◇表彰規定の記事掲載を機に、表彰規定について提案します。隊指導者の功績表彰制度を設けてほしい。たとえば「第スカウトを3年間で10人以上育成したBS隊指導者」など、各隊の活動を活性化する仕組みが必要です。担当部署でぜひご検討ください。

■皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。☑

尾瀬はすぐそこ!

尾瀬の入山口
唐松林に囲まれた丘の上の一軒宿。
他を気にする事無く
オリジナルの合宿が可能。



七ヶ山荘で大自然と一体になるキャンプを!

- ★最大収容人員九〇名(新館四五名・本館四五名) 人気は本館、昔ながらの山小屋で完全貸切。キャンプ場は山荘直ぐ横なので舎営・野営を組み合わせたキャンプに最適。
- ★眼下の一級河川・実川(みかわ)では、川遊び・岩魚のつかみ取り、原生林の中を貫くクロスカントリリーコース等で山野草や昆虫の観察など身近に自然と触れられ且つ安全です。
- ★尾瀬ハイキング・キャンプファイヤー・バーベキュー大会・e t c : : 多彩なプログラムが可能。

なんでも相談し舞の予約は電話でもメールでも可!



なな いり さん そう

七ヶ山荘

〒967-0531
福島県南会津郡檜枝岐村字燧ヶ岳1306-2

TEL 0241-75-2434

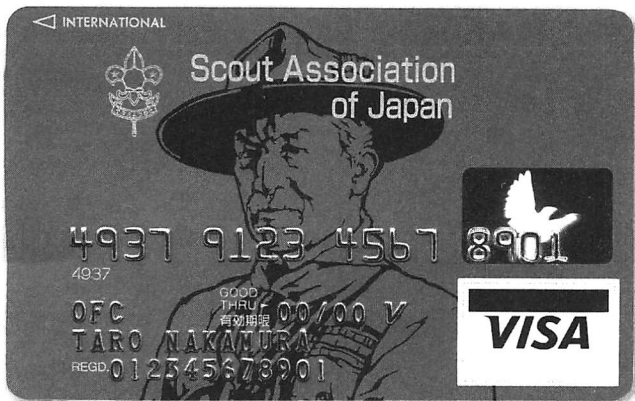
FAX 0241-75-2582

E-mail : nanairi@poppy.ocn.ne.jp

http://www3.ocn.ne.jp/~nana777/

ボーイスカウトカード

カードを使ってボーイスカウト運動を支援しよう!!



▶ 皆さんボーイスカウトカードをお持ちですか?

ボーイスカウトカードは創始者ベーデン・パウエルがモチーフとなっており、加盟登録番号が刻印され、所属県連盟が明記されている、メンバーカードとしても世界に誇れるクレジットカードです。

このカードはオリコカードと提携しており、利用するごとに利用金額の0.5%が所属県連盟に寄付され、ボーイスカウト運動の資金として活用されます。たとえば10,000円の買い物をするると50円が、ボーイスカウト運動資金としてオリコカードから県連盟に寄付されます。カードを利用する皆様に負担をかけることは一切なく、スカウト活動資金を獲得することができるのです。

▶ ボーイスカウトカードの特長

- ① 日本連盟スカウト用品でのご利用の他、国内ではオリコ、UC、VISAの取扱店で、海外ではVISAの取扱店で利用できる国際カードです。
- ② 初年度の年会費は無料です(2年目以降の年会費は1,312円)。また、家族会員は年会費無料です。
- ③ 海外旅行傷害保障制度をはじめとする各種の傷害補償制度が充実しており、自動付保されるので、都道府県連盟の海外派遣にも大いに役立ちます。
- ④ 新規会員1人ごとに1,000円の取り扱い手数料がオリコから所属県連盟に支払われます。
- ⑤ 海外での利用も含めて利用金額の0.5%が所属県連盟に寄付され、財政面から支援できます。
- ⑥ 一般の方でもスカウト活動のサポーターとしてカード会員になることができます。
- ⑦ カード上に加盟登録番号(もしくはSUPPORTER)が刻印され、所属県連盟が明記されます。メンバー(サポーター)カードとしても誇れるカードです。

▶ ボーイスカウトカード独自のポイントサービス ポイント引き換え期間中! 今月末まで!

ボーイスカウトカードで日本連盟スカウト用品を購入すると、ご購入金額1,000円ごとに1ポイントをプレゼント。1ポイントにつき10円相当のプレゼントを下記の3つから選び、ポイントと引き換えることができます。獲得ポイント数は12月末締めでポイント獲得者へお知らせします。ポイントのプレゼント引き換え期間は毎年2月1日から3月末の2か月間です。なお、獲得ポイントは現金との引き換えはできず、有効期限は2年です。

- | | |
|---------------------|---|
| A. 図書カード(500円分) | 50ポイントごとに差し上げます。 |
| B. 全国共通商品券(5,000円分) | 500ポイントごとに差し上げます。 |
| C. スカウト用品購入 | 1ポイント10円で計算し、スカウト用品購入金額の1部または全部に充当できます。 |

※ 金額からポイント数を計算する場合は、合計金額を10で割り、端数は切り上げます。

※ 都道府県連盟、販売協力店ではご利用いただけません。

この他にも人気の高いオリコ独自のポイントサービス「暮らスマイル」サービスもついています。「暮らスマイル」では約200の商品と交換できます。

< 入会のお申し込みは >

スカウトカタログについているボーイスカウトカード申込書をご利用ください。申込書がない場合や不足の場合は、下記宛にFAX、Eメールもしくは電話でご連絡ください。

財団法人ボーイスカウト日本連盟スカウト用品グループBSカード係
TEL 0422-31-5165
FAX 0422-31-5169
Eメール scoutshop@scout.or.jp

投稿お待ちしております

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。

たくさんの投稿をお待ちしています。

【宛先】〒181-0015

東京都三鷹市大沢4-11-10
 財団法人ボーイスカウト日本連盟
 広報チーム スカウティング投稿係
 〈TEL〉 0422-31-5163
 〈FAX〉 0422-31-5162
 〈Eメール〉 pr@scout.or.jp



SCOUTING

スカウティング
 2007年3月号 No.646

CONTENTS

- 世界スカウト運動創始100周年記念
 第21回世界スカウトジャンボリーにジョイン・イン!...P.2~4
 2015年第23回世界スカウトジャンボリーを日本へ!...P.5~6
 追悼 伊藤智是教育本部コミッショナー...P.7
 活動自慢コンテスト作品紹介...P.8~9
 隊活動のヒント...P.10
 全国ボーイスカウトゆかりの地探訪⑦...P.11
 救急法講習会開設推奨ガイドライン...P.12~13
 信仰心を育むために「読書の勧め」...P.14
 おしらせ・読者のページ...P.15~19
 スカウトショップニュース...P.21
 平成19年度全国大会開催要項...P.22~23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
 編集責任者 事務局長 金井昭二

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
 TEL 0422-31-5161
 FAX 0422-31-5162
 URL http://www.scout.or.jp/
 Eメール pr@scout.or.jp

- © 財団法人ボーイスカウト日本連盟/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
- バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。
- 本誌は再生紙を使用しています。

SCOUT SHOP NEWS

100周年記念品

100周年ロゴワッペン 小型 各¥315

世界各国語の100周年記念標章が登場しました! 100年に一度の思い出の品として、ぜひ、皆様のコレクションに加えてください。
世界スカウトショップ(スコア、SCORE)製刺繍ワッペン サイズ:8.8X7cm



品番-70029
アラビア語



品番-70031
ドイツ語



品番-70033
ギリシャ語



品番-70155
英語



品番-70157
フランス語

ボーイスカウトが 目指すもの

—世界のボーイスカウト運動100年—

An Official History of Scouting

イギリス・スカウト連盟 編
財団法人ボーイスカウト日本連盟 監修

山と溪谷社



ボーイスカウト運動 100周年記念出版

3月末刊行予定

山と溪谷社刊

ボーイスカウトが 目指すもの

イギリス・スカウト連盟編 財団法人ボーイスカウト日本連盟監修
原題は『An Official History of Scouting』。230点の豊富な未発表写真で構成されたボーイスカウト運動100年の歴史です。
A4変型ワイド判 天地 297×左右 222mm 上製ハードカバー
208頁(うちカラー192頁) 品番-65567 5,000円

<ご予約特典>

3月30日(金)までにご予約いただいた方全員に、特製100周年限定ワッペンをプレゼント!

※詳しくは同封のご案内をご覧ください。



NEW



チーフリング ブラックベア

品番-28015 ¥400

かわいい黒クマさんのチーフリング。後ろにSAJ (Scout Association of Japan の略称) の文字
サイズ: 3.3 X 5 X 奥行4cm
素材: ポリストーン

NEW



チーフリング ミミズク

品番-28033 ¥400

ミミズクのチーフリング。後ろにSAJの文字
サイズ: 5X4X4.2cm
素材: ポリストーン



2ビーズ携帯ストラップ

品番-72107 ¥500

ビーズはすべて手作りの携帯ストラップ。WB実修所修了者限定品 サイズ:ビーズ本体左右1.1cm
全長:12cm

表示価格は税込価格です。

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。
http://www.scout.or.jp/jp/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ【0422-31-5169 スカウト用品専用】でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

★スカウトカタログ2006 2007等の情報はインターネットでもご覧になれます。

URL : <http://www.scout.or.jp/jp/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。



世界スカウト運動 100 周年記念 平成19年度 財団法人ボーイスカウト日本連盟

全国大会開催要項

テーマ：スカウティングの世紀を、力強く踏み出そう

平成19年度全国大会は、100周年記念事業の一環として、日本国内だけでなく各国のスカウト関係者も交えた、大規模な国際大会として開催いたします。また、多くの青少年団体にも参加を呼びかけていきます。

この全国大会は、日本連盟からの報告や、年次表彰、記念講演の他、各種研修、情報交換や懇親の場を設け、常設委員会などのコーナーや、テーマ別研究会等を行う、指導者向けの大会です。

全国大会は、5月25日（金）午後～27日（日）午前の2泊3日の期間で行われます。



- 期 日：平成19年5月25日（金）～27日（日）
- 場 所：全国大会会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
宿泊はすべて国立オリンピック記念青少年総合センター（以下NYC）となります
100周年記念レセプション 帝国ホテル
- 主 催：財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 開催協力：ボーイスカウト東京連盟
- 参加者：1. ボーイスカウト指導者・役職員
（特に団委員長・地区コミッショナーの参加を期待します）
2. スカウトの保護者、育成会員、スカウトクラブ会員等
3. ローバースカウト
4. 来賓・その他
- 参加費：3,000円（資料代および記念品代）
※資料、記念品は受付時にお渡しします
- 宿泊・食事費：5月25日（金）～27日（日）2泊3食 13,000円
※25日の懇親会費を含みます
5月26日（土）～27日（日）1泊2食 5,000円
- 記念レセプション参加費：20,000円
※記念レセプションのみの参加も可能です

全体日程：

■第1日 5月25日（金）

- 13：00～ 受付開始
- 14：00～18：00 (1) 県連盟コミッショナー会議
- 18：30～21：00 (2) ブロック会議（懇親会含む）

■第2日 5月26日（土）

- 09：00～11：30 (3) 開会セレモニー
日本連盟事業の説明
年次報告・説明（決算、予算）
100周年記念事業の展開
23WSJ 招致決起集会
- 11：30～12：30 休 憩
- 12：30～14：00 (4) 日本連盟表彰伝達式
- 14：15～16：15 (5) パネルディスカッション
教育再生会議有識者、京都市教育委員会教育長
門川大作氏
- 16：30～17：30 帝国ホテルへ移動（貸切バス）
- 18：30～20：30 (6) 記念レセプション
- 21：00～ NYCへ移動（貸切バス）

■第3日 5月27日（日）

- 09：00～10：30 (7) テーマ別研究会-1- ロータリアンの集い他
- 10：30～12：00 (8) テーマ別研究会-2-

日時：平成19年5月25日（金）～27日（日）

場所：全国大会 国立オリンピック記念青少年総合センター
記念レセプション 帝国ホテル

NYCセンター棟外観



大ホール内観



平成19年度（財）ボーイスカウト日本連盟全国大会日程（案）

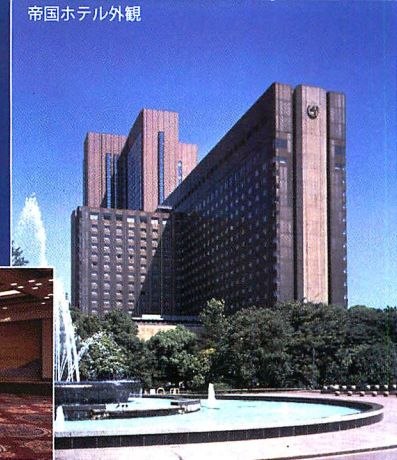
| 時刻 | 25日（金） | 26日（土） | 27日（日） |
|-------|-------------------|--|---|
| 07：00 | | 朝食 | 朝食 |
| 09：00 | | 開会セレモニー ・日本連盟事業の説明 ・年次報告・説明（予算・決算） ・100周年記念事業の展開 ・23WSJ 招致決起集会 | テーマ別研究会-1- |
| 10：00 | | | 展示コーナーの開設（各委員会の活動紹介・協賛企業展示・スカウト用品展示販売他） |
| 10：30 | | | |
| 11：00 | | 休 憩 | テーマ別研究会-2- |
| 11：30 | | 日本連盟表彰伝達式 | |
| 12：00 | | | |
| 12：30 | | | |
| 13：00 | 受付開始 | | |
| 14：00 | 県連盟コミッショナー会議 | パネルディスカッション | |
| 14：15 | | | |
| 15：00 | | | |
| 16：00 | | | |
| 16：15 | | | |
| 16：30 | | (帝国ホテルへ移動) | |
| 17：00 | | | |
| 17：30 | | | |
| 18：00 | 休 憩 | | |
| 18：30 | ブロック会議 (懇親会含む) | 記念レセプション ・特別来賓ご挨拶 ・来賓挨拶、ゲスト紹介 | |
| 20：30 | | (NYCに移動) | |
| 21：00 | | | |



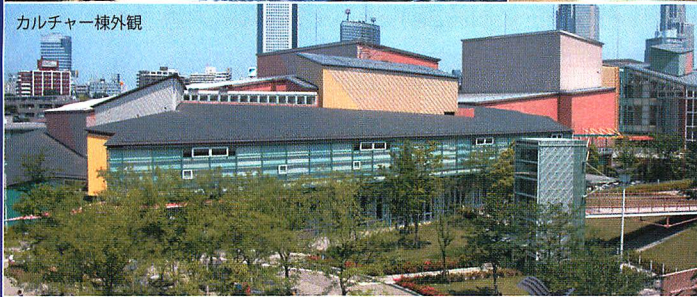
国際交流棟外観



国際会議の内観



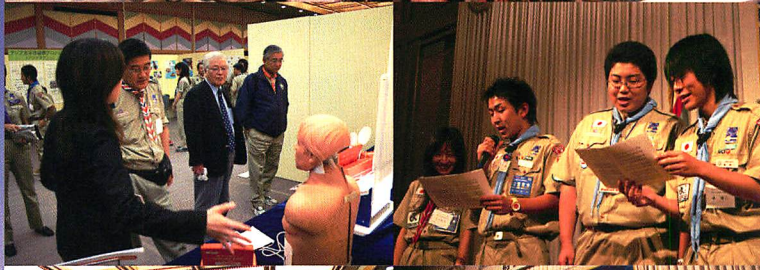
帝国ホテル外観



カルチャー棟外観



セミナーホールの内観



写真：平成18年度全国大会より

■テーマ別研究会

5月27日(日) 09:00 ~ 12:00

前日のパネルディスカッションを基にテーマごとの研究会を開催します。

<テーマの一例>

- ①新アクションプランの推進策について
- ②指導者訓練体系・制度について
- ③カブ、ボーイ部門の部門間プログラムについて
- ④スカウト運動の国際化について
- ⑤保護者向けのPRについて
- ⑥財政確立に向けた企業との連携について

■常設委員会・特別委員会・展示ブース

5月26日(土) 09:00 ~ 5月27日(日) 12:00 を予定

1) 各常設委員会等のブースでは、各委員会の現状の取り組み等について説明、質疑応答を行います。

2) 事業・プロジェクトブース (ブース例)

- ① 100周年事業
- ② 第21回世界スカウトジャンボリー
- ③ 第23回世界スカウトジャンボリー招致
- ④ 第22回アジア・太平洋地域スカウト会議
- ⑤ バングラデシュ・CJ Kプロジェクト
- ⑥ 子どもの居場所づくり事業
- ⑦ 他団体紹介 (青少年団体)
- ⑧ 企業展示
- ⑨ スカウト用品展示販売

他

参加手続き方法

■**申込先**：4月6日(金)までに参加申込書を所属県連盟事務局に提出してください。

■**申込方法**：参加費・宿泊等の費用は、所属県連盟の定める方法により所属県連盟事務局に入金してください。

※都道府県連盟に所属されていない日本連盟関係者は、参加申込書を直接日本連盟に提出してください。

参加申込書は県連盟を通じて入手できます。また日本連盟ホームページよりダウンロードできます。

●全国大会についてのお問い合わせは●

財団法人ボーイスカウト日本連盟 総務グループ渉外・文書チーム
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 4-11-10

電話 0422-31-5161 (代) FAX 0422-31-5162

URL: <http://www.scout.or.jp/> E-mail: kaigi@scout.or.jp



ボーイスカウトになろう!

ボーイスカウトは子どもたちの自発的な活動を大切に、経験豊富な指導者が見守る中で、子どもたちは『たくましさ』『自主性』『社会性』『協調性』などを学びます。



ボーイスカウトになると...



たくましさ

自然の中でキャンプやハイキングを通して元気な子どもになります。



自主性

食事だって自分たちで作ります。



社会性

野外活動を通して仲間と自然を知り、友情を深めます。



協調性

年齢の違う仲間が助け合って、一つのことを成し遂げます。



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUTING 2007/3 646

スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成19年3月1日発行 毎月1回1日発行
発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二
〒181-0015 東京都三鷹市大塚4-11-10
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥409 (税込)
郵便振替 00110-1-82610
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

入団のお問い合わせは フリーコール 0120-333-159 ホームページ <http://www.scout.or.jp>

